

電気火災を未然に防ぎましょう

電気火災とは？

電気火災はコンセントや電気配線から出火し、私たちの家庭でも起こりえる火災の一つです。日常生活で 사용되는電気製品は、非常に便利である反面、使用方法・維持管理の状況によって大きな事故や火災に繋がる危険性を持っています。

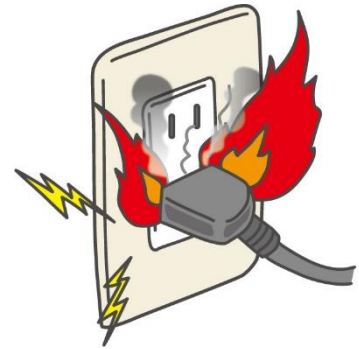
近年、電気火災が火災原因として増加しております。



電気火災の主な原因 3 選と対策

トラッキング現象

トラッキング現象とはコンセントに差し込んだプラグの差し刃間に付着した綿埃が湿気を帯びて微小なスパークを繰り返し、やがて差し刃間に電気回路が形成され出火する現象をいいます。トラッキング現象は電気製品を使用しなくてもプラグがコンセントに差し込まれていれば発生する可能性があります。湿気が多い夏場は注意が必要です。



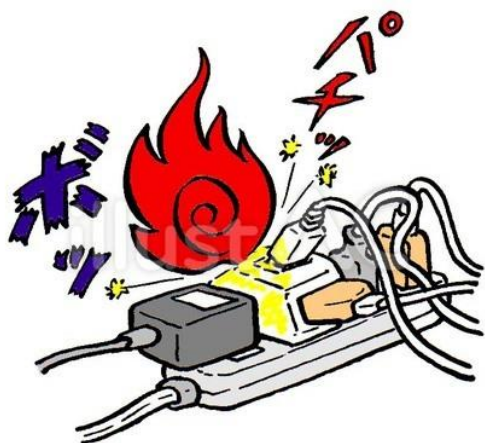
トラッキング現象の対策

- 1 電気製品のプラグは中途半端に差し込まず、奥までしっかりと差し込みましょう。
- 2 普段使用していない電気製品についてはコンセントからプラグを抜いておきましょう。
- 3 差し刃に埃が溜まっていた場合は定期的に清掃しましょう。

過電流

過電流は「たこ足配線」により1つの配線に複数の配線を繋げることで一定の電気量を超えてしまうことを言います。

通常、電気の配線には流せる電気量が決まっており、ドライヤー等の電気を大量に必要とする電気製品を繋げて一度に使用すると、配線が発熱し出火に至る可能性があります。



過電流の対策

コンセントを増やす簡単な方法に延長コードがありますが、家庭ではついやってしまう延長コードへのたこ足配線。複数の配線を繋ぐと配線に負荷がかかり、経年劣化により火災が起こる可能性が高くなります。1つの配線にできるだけ複数配線を繋げないようにし、過電流対策をしましょう。

半断線

電気配線は細かい導線が束になって1本の線になっています。その細かい線が内部で断線してしまうと、配線に流せる電気量が減り、電気製品を使用しているにもかかわらず、配線が異常に発熱して出火に至る場合があります。

半断線は、外側から確認することができません。

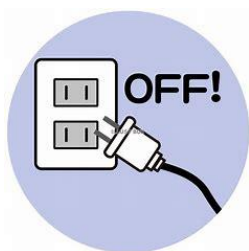
半断線の対策

- 1 できる限り物や足で踏まないようにしましょう。
- 2 コンセントからプラグを抜く時は、コードを引っ張らず、プラグを持って抜きましょう。



電気火災の消火方法

1 ブレーカーをOFFにする！



2 コンセントから差し込みプラグを抜く！

3 電気火災対応の消火器または消火スプレーなどで消火する！

※消火器等がない場合は水で消火しましょう！感電する恐れがありますので、必ず電気を遮断してから実施してください！



4 消火後は必ず消防署（119番）へ通報しましょう！

